

1. 自己紹介

- **東京→沖縄→東京(新潟)→大分**(2009年～)
- **農業→暮らし→RMO→「やる気学」**
- **ゼミ→「こみさぽ」→コミュニティ？**

2. 3つのコンセプト

- を支える !
→ マネージャー > リーダー、「コミカとコマレカ」
- 「三者」の役割と連携
→ 事務局・伴走支援者・市町村担当課
- コミュニケーション
→ 質疑応答、支援者紹介、相談、交流、グラレコ

3. プログラム

- ・農村RMOの性格と広がり
- ・農村RMOを支える「三者」
- ・中間支援者紹介
- ・「三事例」の「三者_(二者)」
- ・お悩み相談・交流

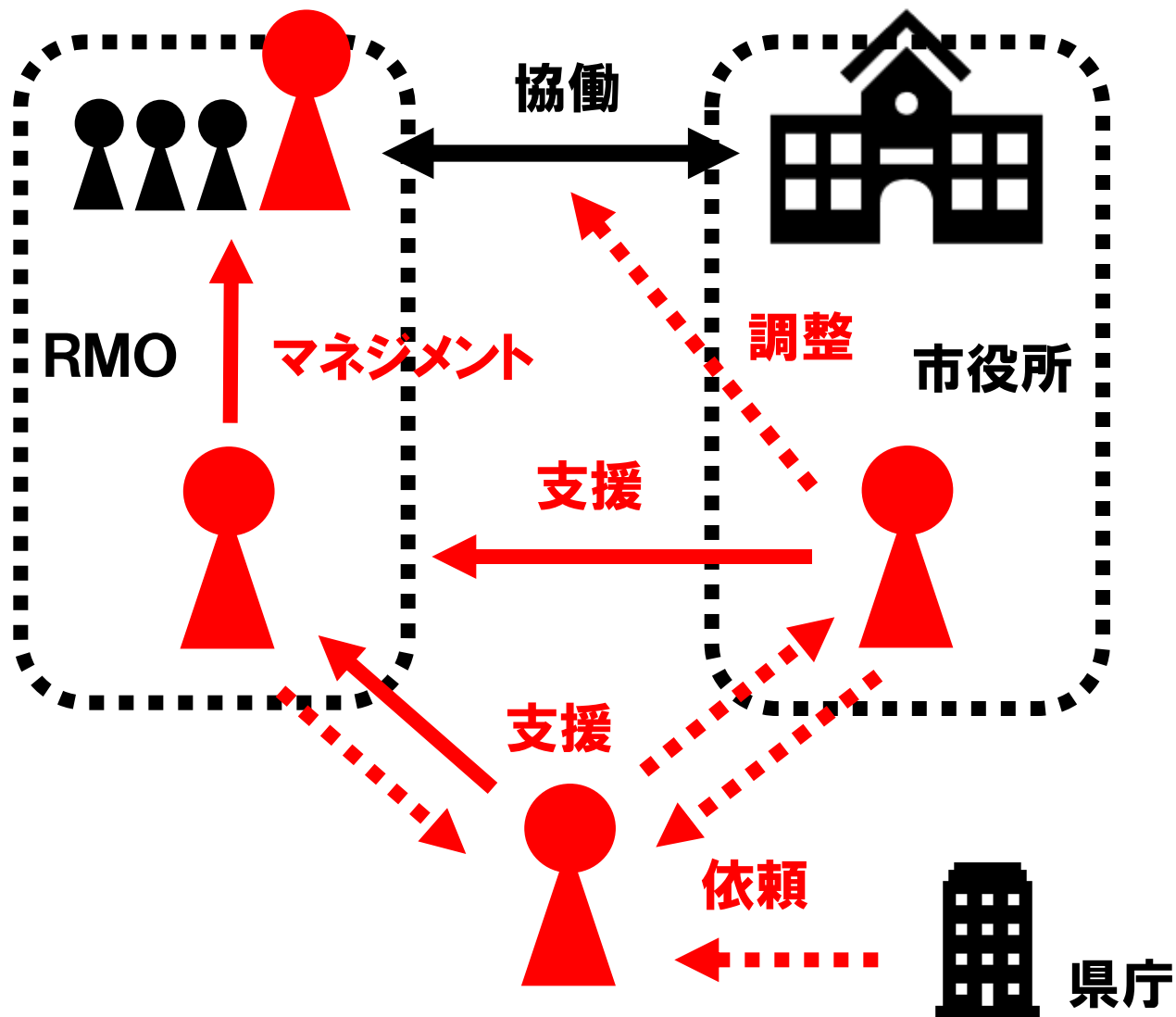
4. 政策研報告の聞き方

- 農村RMOの広がりとは？
- 組織の性格は？（農村化？⇔RMO化？）
- 事業で地域はどう変わった？
- 事業の本当の目的は？
- 注意点（事業実施地域＜農村RMO＜RMO）

5. 政策研報告の感想

- 86 / 443 / 8,193の評価
- なぜ既存RMOが過半か？
- 地域の何が変わった？
- 「むらづくり4.0」(_____ ←ヒト←ソフト←ハード)
- 何が必要か？

6. RMOを支える四者



7. 田中報告の聞き方

- **「誰が」挑戦するのか？**
- **「なぜ」挑戦するのか？**
- **田中さんはPかMか？**
- **協議会の代表性と実行性**

8. 黒田報告の聞き方

- 黒田さんと酒谷
- 「M」としての役割
- 事業のかけ算
- 「P」と「S」の区別

9. 山下報告の聞き方

- ・支所・出張所と協議会
- ・支部・農村RMO・若者団体
- ・庁内関係課との関係
- ・「地域PM」の役割と試行錯誤

10. PDのテーマと進め方

- **45分**(≒15分×3人、1～2分×7～10回)
- **登壇者間、小道具**(キーワード)
- **●●さんに質問！**
- **私の強みと弱み**
- **5年後の「M」**

11. 質問受け付け

- 対面参加者：
→ 午後ペアワーク後受付
- オンライン参加者：
→ 12:45までにチャットに記入
- 「M(組織運営)」優先
⇔ 「A(活動内容)」は交流会で

12. 午後(の前半)のプログラム

- **グラレコで振り返り(10分)**
- **質疑応答・意見交換(45分)**
 - 質問共有(10分)
 - 登壇者回答(25分)
 - 追加質疑応答(10分)
- **中間支援者コメント・PR(30分)**
 - 組織・事業・活動紹介、感想、助言、提案…
 - 5分/人、相談・質問は交流会で

13. 第一部まとめ

-

-

-

-

14. 第2部のプログラム

- **分科会**(意見交換会、70分)
 - 三地域×三者(二者)、多面的に理解
 - オフラインの質疑応答
- **中間支援者への相談会**(40分)
 - 支援者ごとのブースで自由に個別相談
 - 相談内容は事前に整理
- **交流会・ポスターセッション**(65分)
 - 名刺交換、事例紹介